

公益財団法人 立石科学技術振興財団 20XX 年度 研究助成(B)

年 月 日

研究課題情報

研究課題名	
研究期間(2 年)	

申請者情報

氏名(漢字等)	
氏名(フリガナ)	
生年月日	
国籍	
性別	
所属機関名 1	
所属機関名 2(部局名)	
職名	
学位取得	
研究者番号	
連絡先住所	
電話番号	
メールアドレス	

助成サポートシステムで
入力する項目

助成情報

申請額合計	
直接経費計	
間接経費(管理費)	
現在受領中または過去に受領した外部資金について	
ありの場合の具体的内容	
他に申請予定、申請中、採択決定の外部資金	
ありの場合の具体的内容	
当財団から受領した過去の助成	
助成履歴がある場合の具体的内容	

アンケート

この助成をどこで知りましたか	
その他の場合の具体的な情報入手先	

研究助成(B) 申請書 様式 1

【氏名】
【研究課題名】 40 字以内 助成サポートシステムの研究課題名との一致を確認してください。
【研究の目的と意義】 本申請で得られる研究成果の先にあるビジョン、すなわち長期的に目指す姿を当財団の趣意『人間と機械の調和の促進』に沿って記述してください。
【研究目標とそれを達成するための技術的課題】 ここでの研究目標とは本申請の期間内での具体的な研究成果目標であり、研究の目的達成のためのサブゴールです。研究目標設定の理由、妥当性、解決に必要な技術的課題について記述してください。
【本申請の特色・独創的ポイント】 技術的課題を解決するための、新規性、独創性の高い手法やアイデアについて記述してください。
【学術研究としての位置付け】 関連研究の有無を含む

研究助成(B) 申請書 様式 1

【研究計画】

技術的課題を解決する具体的取り組みを詳細化し順序立てて記述してください。それら研究活動と、既に保有している技術・知見・実験環境などを用いた本申請の目標達成シナリオを、1年目、2年目の取り組みの違いを明確に記述してください。

研究助成(B) 申請書 様式 1

【助成金申請額と使途内訳】

- ・研究計画に沿い、必要性がわかるように記述してください。
- ・調査・研究旅費は、申請者本人の旅費でかつ研究計画との関連が明確なものに限ります。
- ・海外での成果発表や海外での共同研究にかかわる経費については本研究助成の対象とはしません。海外学会誌への掲載費用も同様の扱いとなりますので、国内発表の論文の英文校正費用、学会誌への掲載費用については、国内発表であることを明記してください。
- ・助成サポートシステムに入力した金額と一致していることを確認してください。

経費費目		金額(千円)		主な使途
		1 年目	2 年目	
直接経費	①備品 設備費			
	②材料費			
	③人件費			
	④調査 研究費			
	⑤その他			
	⑥直接 経費計			① ～ ⑤の合計 上限 5,000 千円
⑦間接経費 (管理費)				申請額合計の 20%以下
⑧申請額合計				⑥直接経費(2 年間分)+⑦間接経費

特記事項

【共同研究者】

共同研究者がいる場合に記入

氏名・年齢

所属・職名

専門分野

研究助成(B) 申請書 様式 1

【研究歴】 主な研究テーマを新しいものから記入 [西暦 年～ 年]:テーマ名
【本研究に関する発表論文や受賞など(重要なものから記入)】 論文は、論文名、著者名、掲載誌名、査読有無、巻、号、ページ、発表年(西暦)を記入

研究課題名：(40文字以内)

所属機関名：

職名・氏名：



「研究課題説明シート」 申請書 様式1の補足資料

- A 4 × 1 枚とします。
- 水平線、右上の財団マークおよびフッターの財団名は変えないでください。
- 研究課題名、機関名、職名・氏名のフォントサイズは変更して構いません。
- 図・表などを利用して、枠内にお書きください。
- カラーで作成して構いません。選考はカラーの資料で行います。
- 作成後、PDFに変換して助成サポートシステムにアップロードしてください。